

## 大日影トンネル遊歩道 開通記念

# 勝沼フットパス



## ガイドツアー 参加者募集

甲州市では、大日影トンネル遊歩道が8月29日に開通することを記念して、大日影トンネルと周辺の近代化遺産や史跡をめぐるガイドツアーを行います。市教委の文化財担当者による解説付きのツアーです。中央本線の歴史や、鉄道がもたらしたぶどうとワインの流通革命、近藤勇の古戦場・柏尾坂の戦いなど、近代化に邁進した明治のロマンが感じられるルート歩きます。関心のある方ならどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 平成19年9月8日(土) 午前9時30分～午後12時30分ころ

集合場所 JR中央本線 勝沼ぶどう郷駅前公園入口(EF64 電気機関車前)

※小雨決行(中止の場合は申込まれた方に早朝ご連絡します)

参加費 無料

募集定員 30人(定員になり次第締め切ります)

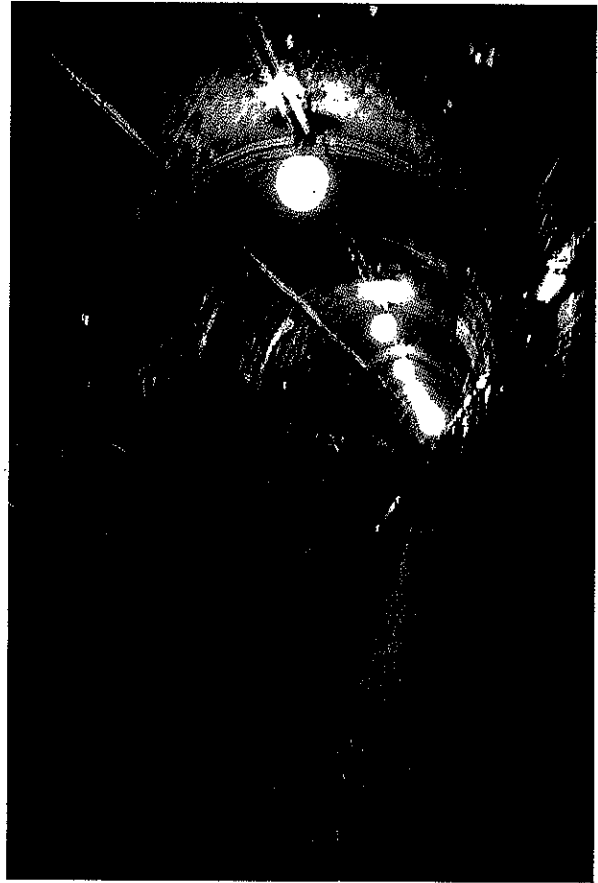
申し込み 9月5日(水)までに甲州市観光課(TEL 0553-48-2111)  
へ電話等で申し込んでください。

### 当日のコースと見どころ(行程約6km、所要約3時間)

- 勝沼ぶどう郷駅 中央本線の開通から10年後、大正2年に請願駅として開設された。駅前公園入口に中央本線を駆け抜けたEF64-18電気機関車が展示されている。
- 大日影トンネル 明治36年に開通した長さ1368mのトンネル。壁面のレンガは建設当時まま、レールは廃線になる平成9年以前のもので保存されている。
- 深沢トンネル(大日影トンネルと同時に完成した長さ1100mのトンネル。平成16年にワインカーヴとして再生された。
- 柏尾坂の古戦場 慶応4年3月に近藤勇率いる幕府軍と板垣退助率いる官軍が戦火を交えた。県内では唯一の戊辰戦争の舞台。江戸、明治、大正期の柏尾橋の橋台も見る事ができる。
- 勝沼堰堤 日川流域の水害を防ぐため、大正6年に竣工した砂防堰堤。在来の石積み工法とコンクリートによる近代工法の組み合わせが特徴。国の登録文化財となっている。
- 柏尾山大善寺 真言宗の名利、創建は奈良時代といわれる。鎌倉時代建立の薬師堂は国宝、本尊の薬師如来、脇侍像の日光、月光菩薩像などは重要文化財。甲州ぶどう発祥の伝説を秘める寺院としても知られる。
- 鳥居平と鳥居焼 鳥居平は江戸時代以前からぶどう栽培が行われていた地帯で、高品質の甲州種が産出される。鳥居焼は千年以上の歴史を持つという山焼き。古くは盆の送り火、明治以降はぶどうの収穫に感謝する祭典となった。
- ぶどう郷遊歩道 甲府盆地を一望に見渡せることのできる小道。晴れていると南アルプスの眺望が素晴らしい。

### 3. ガイドツアーの様子

イベント写真



#### 4. ガイドツアーの感想 ～山梨大学工学部大山研究室（土木環境工学科）学生の感想～

##### 1) 評価事項

###### ● 普段は気づかない地域資源が魅力的だった

- ・「実際に歩くと発見がたくさんあった」歩くことによって、普段、自動車で移動していると見逃してしまいがちな風景の細部（道端の小さな花、雑草などから感じる季節感など）を味わえるのが良い。→「写真やスケッチのコンテスト」も面白そう。（修士2年O）
- ・全体的な感想として、自動車でただ通過するだけでなく自分の足で実際に歩いてみると、勝沼の自然は豊かで、国宝を持つ寺社もあり、土木遺産的な資源もあって、フットパスとして巡るに相応しいということが分かりました。（修士2年O）
- ・普通に訪れていたなら「気付けなかった風景、構造物」が歩くことで見る事が出来たので面白かった。特に、堰堤では増水していたせいもあってその迫力に感動した。観光客だけでなく、勝沼に住んでいる人でも楽しめそう。（修士2年N）
- ・トンネル内で見えるものに、『偽物』がなく、空間が「本物」であったところ。（修士2年N）
- ・最後の辺りで、「ぶどう棚」の間やすぐ側を歩けて、ルートが幹線道路から切り離されていたところ。非現実的な感じがしました。（修士2年N）
- ・参加者への配慮：参加者が増えたということで、急遽ガイドを増員したと聞きました。迅速な対応が素晴らしかったと思います。また、全体としてペースを一定に調整するため、最後尾の人の安全を確保するために、最高尾に安全誘導者がついていったことも良いと思いました。（修士1年A）
- ・実際に見て回ると、当時の面影がひっそりと残っていて蒸気の影響で汚れが残る壁面レンガやレール、枕木など、この機会ではしか体験（見ること）できないことがたくさんあり、このフットパスに参加したかいがあったと思わせるようなトンネルでした。（学部4年G）
- ・大日影トンネル内は夏でも涼しく、舗装・ベンチなどの整備もしっかりされていて歩きやすかった。（学部4年M）
- ・道中見どころが良い間隔で存在していたので、飽きることなく楽しめた。（学部4年M）
- ・勝沼堰堤は当日水量が多かったこともあり迫力があってよかった。（学部4年M）
- ・フルーツライン沿いからの眺めもよかった。夜であれば夜景も綺麗なのだろうと感じました。（学部4年M）
- ・適度な疲労感が達成感とともに心地よく感じられました。（学部4年Y）
- ・1つの時代だけでなく、江戸～昭和の様々な時代が感じられるスポットがあった。（学部4年Y）
- ・風景だけでなく、遊歩道を歩いていて「涼しい」、葡萄畑の中を歩いて「葡萄の匂いがする」など、五感を使った歩き方ができた。（学部4年Y）

## 2) 課題

### ●休憩場所がなかった。

- ・コースの途中で休むことが出来るスペース（「ベンチやお茶処」など）が欲しい。お年寄りや小さい子は勿論、誰にとってもあの距離を休憩なしで歩くのは厳しい。→少しでも地域にお金が落ちるような効果にも期待。景観の妨げにならないように。（修士2年O）
- ・歩いた距離が約6km、炎天下ということもありまして若い人達なら良いのだが、なかなか体力的にも限界がある人もいます。やはり何か四阿的な「休憩場」や「水分補給」できるような場所があっても良かったのではないかなと思いました。（学部4年G）

### ●コースについての課題

- ・「フルーツライン」を歩く部分があったがあそこで一気に現実に引き戻されてしまった気がします。（修士2年O）
- ・「国道20号」沿いでは歩道が狭いにも関わらず、交通量は多く改善の余地があると感じました。（学部4年M）
- ・「フットパス後半では坂のアップダウン」が激しく、そこまで歩いて疲労がたまっている足には負担が大きいように感じました。（学部4年M）
- ・前日のセミナーでも話が出たが、歩ける人たちのための健康促進の場であるだけでなく、歩行が困難な人たちにも歩けるような『歩けない人たちのためのフットパス』のための整備。（例：トンネル手前の長い階段、急な坂道）（学部4年Y）

### ●トンネルが長い

- ・トンネルが長くて、半分くらいで飽きてしまった。（修士2年N）
- ・「トンネル内」の前半部分にはベンチや東屋など休憩ポイントがあるが、むしろきつくなってくる「後半部分に欲しい」ように感じました。（学部4年M）

### ●ガイドツアー

- ・参加人数が多いく2班に分けたとはいえ、まだまだ人数が多くガイドの説明が行き届かない場面や、質問しづらい時、あるいは一つの班でもまとまりがなく何か間延びした状態で散策していることが多く良くないなと思いました。（学部4年G）

### ●建造物のデザインについて

- ・個人的に、大日影トンネルの「入り口の公園」のデザインは微妙だと思った。もう少し頑張れたのではないか。トンネルの歴史を感じる味わいの素材とミスマッチなのが残念。→近くで見ると、ベンチや東屋が安っぽく見える。（修士2年O）
- ・トンネルに入る直前のオープンスペースが魅力的ではなかった。（写真①、②）トンネルへ向けて「わくわく感」を増徴させるようなアプローチをなにか考えるべきだと思います。（修士2年N）
- ・トンネルを出たところの柵が「偽木」であったことがちょっとショック。（写真③）トンネルの美しい赤レンガと不釣り合いであると感じました。（修士2年N）

写真①



写真②



写真③



●その他

- ・大日影トンネル深沢口～ワインカーヴの間の空間には案内所などはあるがなにかもう少し活かせるような気がした。(もったいないような感じがした。)(学部4年M)
- ・見て回れるような遊歩道の整備が望まれると思った。(学部4年Y)
- ・駐車場の不足。電車で来る人だけが対象ではないと思うので(学部4年Y)
- ・トンネル内の水路の中のゴミ(学部4年Y)

3) フットパスを良くするアイデア

●コース内の魅力づくり

- ・半日コースでもアップダウンが激しく、日常的に運動していない私には一気に歩くのは大変だったので、「眺望点に休憩ポイント」をつくって欲しい。歩くことで見つかる風景も多かったんで、あるスポットでわざと立ち止まらせることで、そこで見られるすばらしい風景(たぶん住民の方が良く知っていると思うので)を観光客に見せることができると思う。(修士2年N)
- ・どこか途中で、「勝沼の新鮮な果物をつかったタルトとかのスイーツを食べられる場所があれば、デートとかでも使えそう♪」私はトンネルとかで興奮できるけど、普通の女の子は、たぶんそうはいかないだろうから、そういう場所を整備することでいいデートコースにすることができると思います。(修士2年N)
- ・フットパスの最後は特産品を紹介する絶好の機会となると思います。(修士1年A)
- ・最後の部分でぶどう園の中を歩いて行くので、駅前かぶどう園内に休憩所も兼ねて、ぶどうの「直売所」やその場で勝沼のぶどうが一房¥100などで観光客や地元の子供たちに食べてもらう店があると良いなと思いました。(問題があって出荷できないようなものを安く食べてもらっても良いかと思いました)(学部4年M)

●マップ・ガイドブックの充実

- ・配布資料をもっと充実させると良いと思いました:自分のペースで行きたい人、耳の遠い人、への配慮として。今後来ようかといったことに繋がるために。(修士1年A)
- ・マップが何枚かあってもいいと思う。例えば、初めて参加する人など「初心者用」としてのマップには観光要所などの情報量の多いものを、リピーターなど「中級者用」にはグルメスポットなどを、名人やリピーターなど「上級者」には穴場や裏話・伝説の残るスポットを記したマップ等。(学部4年Y)

●危険回避・コースの改善

- ・歩いていて危ない、「歩道がない道」があったのでそこを改善する必要があると思いました。(学部4年G)
- ・「国道20号線」沿いの部分が危なく感じたので、もしこれから整備できるならば、勝沼堰堤～大善寺(太郎橋)間は川沿いを通れば良いと思った。それと同時に「親水性」のある空間があればゆっくり休めて、地元の子供たちも遊べて良いのではないかと感じました。(学部4年M)
- ・ルートの見直しなど。個人的には、今回歩いたコースの逆まわりも良いのではないかと思います。最後に涼しいトンネルなら体力的にも少しは楽になるし、なによりトンネル抜けたあとに、駅が見えたほうがおもしろいと思います。(学部4年Y)

●トンネル内での魅力の創造

- ・トンネルはとてもわくわくしたし面白かったけど、半分くらいで飽きてしまった。トンネルを出たところにトンネルワインカーヴがあったけど、「トンネルの途中でそのワインが飲めたらいい」のと思った。(試飲程度でいいので)トンネルの中には独特の空気感があるので、そこで「ゆっくりと時間を過ごせる空間やしかけ」をつくったら面白いと思う。(修士2年N)

●フットパスのツアー開催時期

- ・個人的には、フットパスの季節は、春と秋が良いと思う。長い距離を歩くのに、夏は暑いし冬は寒い。しかも春、秋は勝沼の果物が豊富なので、観光とも結びつき易いのでは。→フットパスと「農業」の連携によって、農業がもっと元気になれば良いと思います。(修士2年O)

●マナーの周知

- ・「観光客のマナー」を促すものがあるとよいかと思いました。(学部4年Y)

●地元を知ってもらう努力

- ・朝市の小澤さんも言っておられたが、勝沼の人でもこの魅力に気が付いていない人も多いということです。「まず、勝沼に住む人」皆が地元の魅力の再発見のためにもコースを歩いてみて、地元以外の人に誇れるものにして欲しいと思いました。そうすれば、観光客にとっても魅力的なものに映るだろうし、地元の人との交流も生まれやすいのではないかと思います。(修士2年O)
- ・もっと内部の人、地元の人に参加をしてもらったらよかったです。フットパスは外部の人が主体ですが、そこに内部の人が参加することにより、①地元の資源の再認識、②観光客が注目してくれているということから地元の人が改めて地域に誇りを持つきっかけになる、といった効果が考えられます。(修士1年A)